

それでも住みたいまちへ

まちづくり

水害対策

名古屋への利便性と古いまちなみ

津島駅から名古屋駅までは電車で25分。通勤圏であり、個人事業主や小企業の会社運営においては、名古屋市内の会社と打合せでも対応できる距離の立地です。SOHO住宅することで、日々の地域で仕事をする人口を増やし、地域の活性化に。クリエイターの住む街をさせ、地域内から自発的かつ継続的なまちづくりの発展。

また、保存されてきた「古いまちなみ」という魅力も、SOHOとして活用されれば建物は保存され、まちの活性化にも。

まちなみ=「人の生活」の景色

「まちなみ」は建物のかたちよりも、そこで生きる人々の様子が景色となり、まちの雰囲気になります。各建物とどのあいだに中間領域を設け、道と人が関わるよう。SOHO住宅は、この中間領域の活用を促します。

住宅のデザインコード

住みたくなるまちなみによる、住宅にデザインコードを採用します。新築時に適用する項目、既存でも対応できる項目を。

屋根勾配4/10~5/10

瓦の町並みに合わせます。一般仕様としては、メンテナンス時に足場を必要ない5/10まで。

中間領域

道路と1階部分に0.9m以上の底や縁側、ボーチなどの中間領域を設置し、住宅建物の外部空間での活動を盛んに。

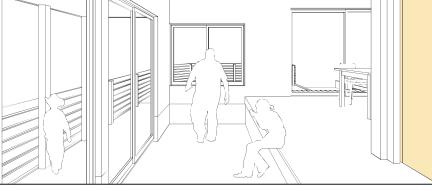
窓の高さは道路から1.4mまで

面で窓がずれ間を開け、みちに対して圧迫感を与えないものに。

中間領域 土間+ボーチ

農地が豊かな津島市。貸農園があれば、農作業+

SOHOという生活。色々活用できる空間空間。



中間領域 縁側

縁の下は外部活動のちょっとした収納庫。家庭

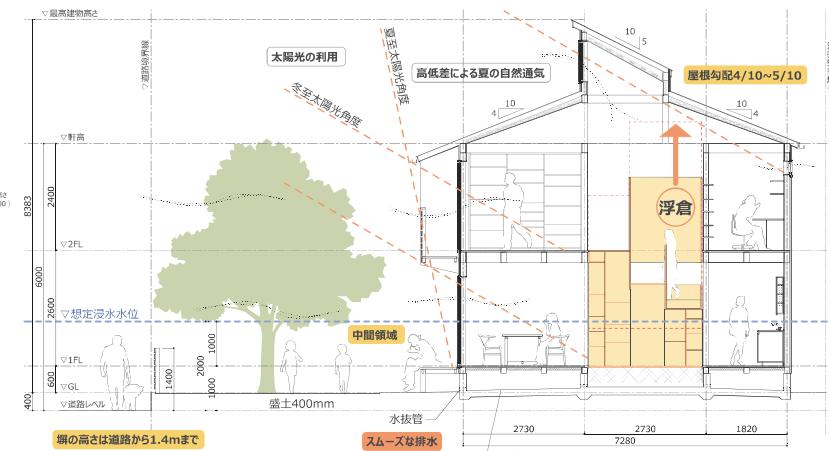
菜園用の農具の収納や、遊び道具・ボールなど

を置いておけばちょうどいいで、庭の活用を诱发。



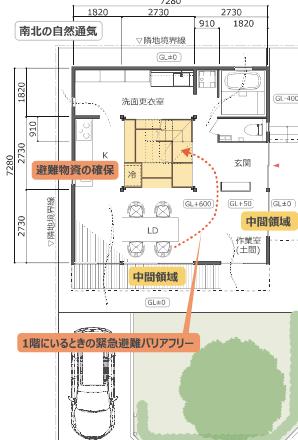
2階は外部からのプライバシーが高い一室空間とし、必要に応じ家具で個々のスペースを作り切って、間仕切り壁を設ける。住まいながらのカスタマイズ。

2階平面図 S=1/100



1階は外部に対し開放性の高い空間であるが、縁側、土間、玄関ボーチなどの中間領域を道路とのあいだに設けることで、落ち着きある空間を確保。

配置図兼1階平面図 S=1/100



提案敷地：津島市中地町1丁目

津島市中地町1丁目は古いまちなみが保存されている本町筋周辺の住宅エリア。

本町筋と一緒にしてのまちなみの形成、活性化を計画。



浮倉造り

押出発泡ポリスチレンフォーム(比重0.3)と水(比重1)の差を利用すると、フォーム350mmの場合に得られる浮力はおよそ340kg/m³。階段室と1階収納庫を兼ねたボックスをフォームの上に載せることで、浸水時にボックス全体が浮かび、持ち上がるよう。

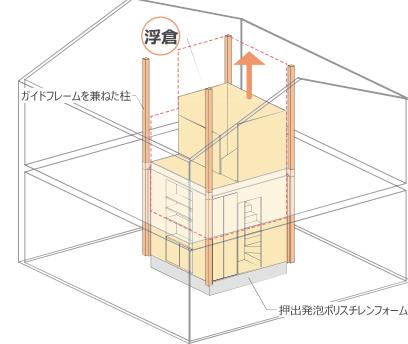
耐震性は筋交で等級3を確保

浸水時には、壁の面材が剥がれてしまう可能性があり、余震に対する耐震力の低下が懸念されます。筋交であれば浸水による耐力の低下を軽減。

被害状況に応じ液状化対応

液状化による被害は個々の建物でバラつきがあり、完全に被害を防ぐとなると膨大な費用となり、建物や土地の価格が大きくなる。地盤改良+基礎とし、10cm以下の不動沈下程度であれば、基礎下に硬質ウレタンフォーム注入程度で対応、10cm以上であればそれに応じた対応をする、という状況に応じた対応であれば住宅でも一般化が可能。

地震対策



断面図 S=1/100